

## 昭和54年度沖縄研究奨励賞候補者募集について

沖縄協会では、本年度から「沖縄研究奨励賞」を設けて、沖縄を対象とした自然科学・社会科学・人文科学の研究の中から、将来性豊かな、秀れた研究を行なっている新進研究者（または団体）2名を選び、激励することになりました。下記事項をお読みの上、推薦希望者は10月15日までに事務局まで申し出て下さい。応募用紙は担当理事に御請求下さい。

### 記

#### 募集要項

- ア. 沖縄研究奨励賞（以下奨励賞）の推薦にあたっては、奨励賞規定に基づき実施します。
- イ. 推薦対象者（以下対象者）の年齢は、原則として50歳以下とします。
- ウ. 対象者がグループの場合は、その1グループを1人とみなします。
- エ. 対象者の国籍または出身地などは問いません。
- オ. 対象となる研究は継続中のものでも結構です。

#### 沖縄研究奨励賞規定

1. 沖縄研究奨励賞（以下奨励賞という）は、沖縄を対象とした自然科学・社会科学・人文科学の研究者の中から、将来性豊かなすぐれた研究を行なっている新進研究者（またはグループ）2名に贈る。

2. 本奨励賞を受けるものは、原則としてそれぞれの学会、研究機関、大学および実績のある研究者などから推薦されたものを候補とする。
3. 前条の候補について、沖縄協会（以下本会）内に設けた沖縄研究奨励賞選考委員会（以下委員会）で審議し、決定する。
4. 本奨励賞の推薦（または応募）は毎年10月末日に締切り、12月15日に当該年度の受贈者を決定、発表し、翌年1月10日受賞式を行なう。
5. 本奨励賞として、賞状、記念品ならびに副賞として研究助成金50万円を贈るものとする。
6. 委員会は、委員若干名をもって構成し、委員の互選により委員長を決定する。さらに、沖縄地区委員長、東京地区委員長をおく、研究対象によっては専門委員をその都度置くことができる。
7. 委員会を円滑に推進し、事務を整理するため、事務局を本会内に設ける。

担当理事 新田 尚

〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4

気象庁予報部電子計算室

電話(03)212-8341 内線449

## 気候変動に関するシンポジウム—雪氷圏、地表面の役割を中心にして—のお知らせとプログラム

共催 世界気候小委員会 気候変動と人間活動検討班、  
日本気象学会

日時 昭和54年11月19日（月） 13.00～17.00

場所 気象庁講堂

#### プログラム

開会の辞 山本義一  
司会 田中正之

1. 人工衛星からみた地表状態・雪氷分布…土屋 清

2. 南極における大気・氷雪相互作用……山田知充
3. 局地的な大気・氷雪相互作用……樋口敬二  
司会 朝倉 正
4. 砂漠の変動……鈴木秀夫
5. 気候モデルにおける雪氷域、地表面の  
取扱い……時岡達志  
総合討論  
閉会の辞 山元龍三郎

### 正 誤 表（下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます）

巻号	ページ	行	誤	正
26.7	422	左下5	(4937) 瀬上 哲彦	瀬上 哲秀